

長野電鉄活性化協議会

平成21年5月1日設置



概要

長野電鉄屋代線の活性化・再生に資する具体的な施策を関係者が連携して展開し、沿線地域におけるバス等を含めた公共交通利用者全体の増加及び沿線地域の公共交通の維持・発展並びに地域経済の発展を目指して、総合的な計画を策定し必要な施策を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・長野新幹線、JR信越本線・篠ノ井線・飯山線、しなの鉄道、長野電鉄長野線・屋代線(長野駅ほか40駅)
- ・川中島バス(株)(27路線)、長電バス(株)(11路線)、(有)信州観光バス(1路線)、廃止路線代替バス(8路線)、コミュニティバス(15路線)、市バス(4地区)、乗合タクシー等(9地区)

○地域公共交通の課題

- ・マイカーに過度に依存し、利用者が減少した状況
- ・大幅な経常赤字の中、新たな設備投資が必要となっている

○調査の主な内容

- ・現状の分析と問題点の把握
- ・新たな旅客需要創出に係る施策の検討等
- ・新たな設備投資に係る検討
- ・需要予測調査

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・収益増に繋がる鉄道経営改善、運行形態の見直し
- ・JR、しなの鉄道、バス等との乗継円滑化
- ・利用者増に繋がるイベント・観光振興
- ・駅の魅力創出、地域への情報発信によるPR
- ・NPO、ボランティア、地域団体との連携による支援

